



第四中だより

足立区立第四中学校

校長 五明 早苗

「普通」って？

校長 五明 早苗

夏休みが終わりました。今年はオリンピック・パラリンピックの年で、200を超える国の人々の熱戦が毎日のように報じられています。

ところで、皆さんは「普通は」という言葉を使うことはありますか。「普通は」という言葉は、「私もそうだし、ほとんどの人が同じ」という意味で使うことが多いと思います。

それでは、雨が降ったら傘をさすのは普通のことですか。また、家の中で靴を脱ぐことはどうですか。

なぜ、こんなことを改めて言うのかというと、日本人が思っている「普通」は外国人にとっては「普通」でないことが多いからです。

よほど強い雨が降らない限り、傘をささない国の方が多いということですし、(興味のある人は調べてみてください)靴のまま、家の中に入り、基本、靴はいつも履いた状態にいるという国は予想以上に多いはずです。

はっきりした数は分かりませんが、「傘」と「靴」の利用の仕方は、世界的レベルで考えると、日本のやり方の方が少数派です。言い方を変えていえば、日本人のやり方は外国人から見ると「普通じゃない」ということになってしまいます。

こんなふうに私たちが「普通」と思っていることが、外国の方から見れば「ありえないこと」であることが多いということを、皆さんには知っておいてほしいと思います。

10人いれば、10通りの「普通」があると思ってください。相手の「普通」と自分の「普通」は違って当然という心のゆとりが必要であるともいえます。

まずは自分の「普通」を相手もそう思っていると決めつけたり、同意を求めないことが大事です。もしかしたら、これは外国の人に限ったことではないかもしれません。日本人同士でも、生活習慣や考え方の違いからそれぞれが考える「普通」は違うはずだからです。

最も気を付けなければいけないことは、自分の「普通」と相手の「普通」が違っているときの対応の仕方です。お互いに自分の「普通」を正当化してはいけません。そうすると相手が「普通」と思って今まで行ってきたことは、たちまち「普通でないこと」→「改めるべきこと」と変換されてしまい、相手の行為を否定することになりかねないからです。

大事なことは相手の「普通」を理解し、尊重することです。そうすれば、自然と自分の「普通」も尊重してもらうことができ、お互い理解しあうことができるようになるはずです。



9月の予定

2日（月）全体指導

3日（火）各種委員会

学校運営協議会、開かれた学校づくり協議会

11日（水）期末考査【保体・技家・音楽】

夜間学級修学旅行（始）

12日（木）期末考査【美・英語・理科】（給食なし）

13日（金）期末考査【国語・社会・数学】

夜間学級修学旅行（終）

＊今回3年生は保体・技家・音楽・美術のテストはありません。

16日（月）敬老の日

22日（日）秋分の日

23日（月）振替休日

24日（火）学校公開（始）

26日（木）連合陸上大会

27日（金）生徒会役員選挙

28日（土）土曜授業・学校公開（終）

新1年生向学校説明会 13：45～14：30



関東大震災から101年

8月8日、宮崎県日向灘沖を震源とした震度6弱の地震が発生し、その後南海トラフ地震臨時情報が初めて出されました。それを受けて皆さんのご家庭でも、大きい地震が起きた時の備えについて話し合ったことと思います。

ここでもう一度、地震の時の心構えについて、確認してみましょう。

1 学校で地震にあったら

学校は耐震の校舎ですから、火事が起きなければ校舎内は安全です。先生方の指示にしたがって落ち着いて行動してください。ただし、震度5弱以上の大きな地震の時、保護者の方のお迎えが来るまでは原則学校で待機となります。

2 外出先で地震にあったら

倒壊や落下物の恐れがない場所に避難しましょう。とにかく自分の体、特に頭を守りましょう。揺れが収まったら近くの避難場所で様子をみましょう。何かあったときは伝言ダイヤルを活用することや、家族との連絡の取り方をきめておきましょう。東日本大震災の時、携帯電話は通じませんでした。

